

研究・調査報告書

報告書番号	担当
297	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption in The Netherlands in the last decade: sharp decreases in binge drinking, especially among youngsters. オランダの最近 10 年間のアルコール消費：特に若者における多量飲酒の急な減少	
執筆者	
Garretsen HF, Rodenburg G, van de Goor LA, van den Eijnden RJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Alcohol. 2008 Jul-Aug;43(4):477-80. Epub 2008 May 2.	
キーワード	
アルコール消費量、飲酒行動、若者、オランダ、動向	
要 旨	
<p>目的： 1997-2005 年におけるオランダにおけるアルコール消費量の変化と「多量飲酒」をの関連を検討する。</p> <p>方法： オランダ保健省による 3 つの一般集団を対象とした調査データを比較した。</p> <p>結果： 特に若者で、多量飲酒の減少がみられたが、これは宗教的な方向性に応じた集団構成の変化により説明されないし、現状他の説明もなされていない。</p> <p>結論： オランダにおける多量飲酒の傾向は、比較的短い時間経過で変化しうる。</p>	